



2005~2006年度 創立30周年



越谷北ロータリークラブ

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6 クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会 長： 安井 晃

副 会 長： 豊田 昇

幹 事： 増田 英樹

会報委員長： 長谷川 真也

第1481回・第1482回例会記録 No. 39

平成18年6月21日

司会： 小林 光則

編集： 宮崎 敏博

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング「我らの生業」
3. 会長挨拶
4. 幹事報告
5. 委員会報告
6. スマイル報告
7. 委員会活動の総括
8. 出席報告

会長挨拶



(安井 晃 会長)

クラブ創立30周年時の会長として、一つに会長提言について、二つにクラブ運営・活動について、三つに30周年記念事業についてを考え、その任務を遂行してまいりました。会長提言については、RIテーマに基づくもの、あるいは、ロータリーの根本に繋がるものと考えておりました。ポール・ハリス語録には「...ロータリーは友情、寛容、人の役にたつことという永遠・不滅の土台の上に立っている。」、「ロータリーの多種、多様な活動の下に、変わらぬ基調があります。善意、善意、善意、という基調です。」とあります。私は、これを引用させていただき、会長提言を「信頼と友情を育み善意を発揚させよう」と致しました。クラブ運営・活動については、老・壮・青の相互理解と協調に基

次回例会予告

平成18年7月5日

会長幹事の引継ぎ就任式

太田年度第一回例会

委員長指針表明

越谷北ロータリークラブ

2005 - 06 安井晃会長提言「信頼と友情を育み善意を発揚させよう」

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

づくクラブの良き歴史と伝統を継承すると共に、親睦と奉仕の両輪を噛み合わせて、クラブ活動の進展を図るように努めました。又、会長挨拶では、ロータリーの河の流れと題して、P・ハリスの生い立ちから四大奉仕の成立までのロータリーの歴史を話して、その理解に努めました。30周年記念行事については、前年度の準備委員会から繋がる実行委員会の企画に基づき会員の皆様と共に成功裡に開催できるように努めました。

各部門の主な活動は下記の通りであります。

クラブ奉仕: 会報広報委員会の協力により、パソコン映写による結婚・誕生祝い、卓話が行われ、例会の充実が図られた。会員増強委員会(30周年記念特別委員会)活動を活発に行い、3名増強された。ロータリー情報雑誌と親睦委員会共催により、川治温泉「宿屋伝七」に於いて炉辺会合(主なテーマ:これからのロータリーの奉仕活動)並びに親睦旅行を開催した。(4月)浪江RCに表敬訪問(1月)

職業奉仕: 地区職業奉仕セミナーの報告を行い「ロータリーはあなたにとって何ですか」をテーマにフォーラムを開催した。

社会奉仕: 越谷市民まつりに参加協力。(プロレスショー公開、ロータリー・ユネスコについてのアンケート調査による広報活動を行った)(9月)越谷らるご(不登校児童・生徒の支援活動団体)・ロービジョン友の会アリス(中途視覚障害者の支援活動団体)の卓話による活動紹介と支援を行った。新世代。インターアクト委員会で、地区米山奨学生4名を招き、「日本の印象について」の新世代対話集会を開催した。又、獨協埼玉高インターアクトクラブ会員の韓国訪問報告と姉妹校シュタインバードギナジウムの交流報告を基に新世代交流セミナーを開

催した。(4月)ボーイ・ガールスカウトの支援
国際奉仕: 安養冠岳RCに表敬訪問(11月) 安養冠岳RCと姉妹クラブ締結再調印式(5月13日 30周年記念式典と同日開催) 国際親善訪問旅行・ハワイ島(2月)ロータリー財団委員会で、マッチンググラント(実施クラブは越谷北RC、支援クラブは安養冠岳RC、社団法人越谷市社会福祉協議会に地域福祉活動支援車両の寄贈)事業を積極的に展開した。

米山奨学金寄付率 114.63%。

30周年記念実行委員会: 創立30周年記念ゴルフ大会を12月2日千葉CC野田コースで開催した。(120余名の参加) 創立30周年記念式典・懇親会を5月13日、浅草ビューホテルで開催した。(160余名の参加)

記念事業

- * 越谷市総合公園にシダレ桜一式植樹
 - * マッチンググラントにより(社)越谷市社会福祉協議会に地域福祉活動支援車輛を寄贈
 - * 越谷らるごに支援金贈呈
 - * ロービジョン友の会アリスに支援金贈呈
 - * 越谷ユネスコ協会に支援金の贈呈
- 至らぬ所、多々ありましたが、増田幹事の尽力と皆様のご理解とご協力をいただき、お陰様で30周年年度を終了できますこと、大変有難く心から感謝とお礼を申し上げます。

幹事報告

(増田 英樹幹事)

1. 越谷東RCより、例会変更のお知らせが届いております。東京湾船上で夜景を楽しみながらの最終例会です。
2. 蓮田RCより、例会変更のお知らせが届いております。

越谷北ロータリークラブ

2005 - 06 安井晃会長提言「信頼と友情を育み善意を発揚させよう」

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

3.6月14日開催の第12回理事役員会における、新入会員候補者、小宮山大介氏の入会について審議の結果、次年度に入会をしていただく事が承認されました。

委員会報告

親睦活動委員会

次回例会は、安井年度の最終夫人同伴夜間例会になります。既にご案内の通り、東京ディズニーシーホテルミラコスタで例会・懇親会を行います。出席者は59名で、北越谷駅西口を午後2時にバスで出発し、葛西臨界公園を散策し、水族館に寄ってから現地に向かいます。直接行かれる方も幾人かいらっしゃいますが、記念写真の撮影がありますので、5時30分までにホテルミラコスタの2階会場まで遅れないようにお越しください。尚、これからのキャンセルになっても、準備の都合上、登録料は戻りませんので、ご了解頂きたいと思います。

委員会活動の総括

クラブ奉仕委員長



関森初義委員長

今年度、クラブ奉仕委員会は2大テーマを目標として取り組んでまいりました。第1に、「30周年事業の協力と成功」。第2に、「会員増強10名目標」。これらを基軸としてスタートを切りました。このような目標を達成するには、クラブ奉仕委員会の各小委員会の活動は必須であり、協力体制

が確固たるものでなければなりません。そこで各小委員会活動報告をしたいと思います。

出席・会場運営委員会は、本間委員長を中心に、決められたシフトを作成しておののが、司会に取り組み、会場運営においてタスキをかけ出席の当番を果たしていただきました。又、無駄なく食事の用意も委員長の欠席届けを徹底していただいたおかげでもあるのではないのでしょうか。

親睦活動委員会は、鈴木委員長の事前の準備、下見、計画立案が念には念を入れ、脱帽と安心感を持って遂行できたのではないのでしょうか。もちろん委員の方々のご尽力は言うまでもありません。

プログラム委員会は、黒田委員長のもと外部卓話・会員卓話・月間卓話等の変化を組み入れて進めて頂きました。また30周年にあわせてのプログラムを挿入しながら、会員への告知も充分にされたのではないのでしょうか。それにあわせて新入会員のインシューエーションスピーチにも気配りいただいたかと思います。

会報・広報委員会は長谷川委員長を軸としてベテラン揃いの委員会でスムーズに運営出来た感があります。年初に開催した委員会ではプロジェクターをうまく利用できないかという投げかけにも結婚誕生の紹介に従来にない試みをしていただき、例会が一段と楽しいものとなりました。今後は30周年記念誌の創刊にまだ時間がかかりそうですが宜しくお願い致します。

以上、各委員会活動における私なりの感想ですが、委員長として2大目標を掲げたなかで、30周年記念事業への協力は充分

に委員長を中心として成功裏に導いていた
だけだと心から感謝申し上げます。それと
30周年記念特別委員会として発足いたし
ました会員増強委員会との合同取り組みの
結果、純増3名の達成ができました。当初
10名という数値目標で私なりに意気込ん
でみたものの途中リタイヤして会員の皆さ
んをはじめ特別委員会の眞々田委員長にも
ご迷惑おかけいたしました。しかしながら、
委員会を何度となく開催して模索したこと
が大変重要な事だろうと安井会長からも労
をねぎらうことばをいただき、委員長とい
う立場に安堵感を与えていただき有難うご
ざいます。1年間会長をはじめ、各委員長
の方々、しいては会員みなさまにご協力い
ただき心から感謝申し上げます。

職業奉仕委員長



岡崎勲委員長

一年間大変お世話になりました、事業計画
の中で一つだけ、地域社会に貢献するという
事業が実現できず非常に残念でしたが、その
外の事業に関しては、お互い助け合いながら
展開できたと思っております、一年間有難うご
ざいました。

社会奉仕委員長



木村二夫委員長

皆様から頂くスマイルが、委員会の予算の根
本でございます、今年度は、年間3万円を公
平に頂きました。その他、毎例会ごとに頂いた
スマイルを合わせて2,331,136円になりまし
た本当に有難うございました。

国際奉仕委員長



若海兵馬委員長

至らぬ私が国際奉仕委員会の大役を、お
おせつかり、会員全員の皆様の御協力によ
り、任期の終わりを迎え、会長、幹事、そし
て小林財団委員長、高橋米山奨学委員長に
は、特段の御協力をいただき、北クラブ会
員の皆様に感謝申し上げます。

ロータリー財団委員会におきましては、小
林光則委員長を筆頭に、委員の皆様が、基
本方針にのっとり、財団の意義を委員長自
ら卓話に纏め、充分に認識していただき、
年次寄付をお願いし、結果として、人道的、
教育的、文化的なプログラムの遂行ができ
たものとして、発表させていただきます。
米山奨学委員会におきましては、高橋委員
長の強力なリーダーシップとキャラクター
により、会員相互の連携の中、地区部門委
員の田中雪心様に卓話をしていただき、「思
いやりと助け合い」に基づく、理解促進を
はかり、寄付金など、初期の目的を達成で
きたものと思っております。
国際奉仕委員会におきましては、小林光則
副委員長の後ろ盾を得て、各委員の皆様の

御協力のもと、安養冠岳 RC への、親睦を含めた、30 周年記念事業への参加要請キャラバン。そして、海外親善旅行は 4 泊 6 日で、ハワイ訪問。30 周年記念事業時の安養冠岳 RC からの訪問団の受け入れをメイン活動とし、基本方針に掲げた活動が実施できたものとして御報告いたします。

いずれに致しましても、30 周年の節目にあたり、老いも、若きも、会員の皆様の叱咤激励をいただき、3 委員会の活動が完結致しました。特に安養冠岳 RC との継続的な親睦活動が計られましたことは、皆様の御協力の賜物として、厚く御礼申し上げます。



豊田昇副会長

30 周年にあたり、会員増 10 名の目標を掲げまいりましたが、結果的に 3 名でしたが、この地区平均 1 クラブ 1 名弱の会員増に比べれば、評価できるのではないかと思います。

青木清 30 周年実行委員長

四大奉仕の皆様には大変お世話になりました、皆様と楽しく出来たことに感謝申し上げます、一年間有難うございました。

😊 スマイル報告 😊

😊 本年度、皆様方のご理解とご協力を賜り、つつがなく終了できますこと誠に有難うございます。

安井晃

😊 当例会場での例会、本日最後となりました。

一年間のご支援心より感謝申し上げます。

増田英樹

😊 国際奉仕委員会として一年間大変お世話になりました。

若海兵馬

😊 安井会長さん増田幹事さん一年間ご苦労様でした。

本間孝

😊 安井会長、増田幹事一年間ご苦労様でした、7 月から本業頑張ってください。

石井知章

😊 眞々田様、会員増強委員会一年間お世話になりました、ありがとうございました。

松崎義一

😊 前回欠席して申し訳ありません。

青木清

😊 先週お休みしました、来週もすみません。

吉澤晴雄

出席報告

小林光則出席会場運営委員

会 員 数 50 名

出席者数 37 名

欠席者数 7 名

出席免除数 6 名

出 席 率 84.1 %

前回メイクアップ 3 名

修正出席率 81.8 %

前々回メイクアップ 1 名

修正出席率 86.3 %

安井年度夫人同伴最終例会



ホテル ミラコスタにて

会長挨拶



会長 安井 晃

今日で最後になりますが、今年度の会長提言にあります信頼と友情について話してみたいと思います。それは学生時代の友人との話なんですけど...

私は小さい時から体が弱かったもので高校時代の体育はほとんど見学していました。大学に入って2年生の時に体を丈夫にしようと思い、ワンダーフォーゲル部に入りました。夏合宿は30数kgの荷物をかついで一週間程の山登りです。入部初年度、槍ヶ岳の手前で体力不足により足が動かなくなりました。約15分でテント場に着くという所でグループから離れ、荷物を

軽くしてもらい先輩二人に前後付き添われて、ごつごつした岩場をいざりながら2時間かけてどうにか着くことができました。前年の南アルプス北部の夏の合宿で脱水症状が出て大変苦しい思いをした同級生の友人が、先に着いていまして私の様子をずうっと見ていて、私がテント場に着くなり、よく頑張って着いたなと涙して迎えてくれました。その夜の部長・リーダー会議で私は下山を命じられ一日休養後、先輩二人に付き添われ下山しました。翌年、私は大学内施設での合宿、ボッカ訓練、長距離のワンデリングに参加して次第に体力がついていきました。その年の北海道・旭岳の夏合宿では雨天の中、困難な山登りでありましたが、ついて行くことが出来、別々のルートに登ってきた3グループが合流した時、共に頑張ったという思いで、私とその友人は肩を抱き合って喜び合いました。以来二人で行動することが多くなり、山手線沿いの道を歩いて一周したりもしました。ところで、その友人は私と正反対で授業を受けて講義ノートを作らず、期末試験になるとノートを見せてくれと家にころがり込んで来ました。おふくろが簡単な手料理を作り、酒を出してくれますのでいつも酒盛りになってしまいました。二人とも、どうにか卒業できまして、その後ずっと友人として付き合っています。いつ頃からか覚えておりませんが、おふくろ元気かと、毎年、産地の旬のちりめんとかまあげを送ってくれています。また、彼は数年前、四国の伊予RC会長を務め、私が会長になるに当たりいろいろアドバイスをしてくれました。青春時代、クラブ活動で共に苦しい思いを経験した時、互いの行動を見て自分と対比させ、向上心を持ったり、感動したり、勇気を持ったりして多くを語らずとも心の交流はできていくことはよくあ

ることと思います。このようなことから私は彼から信頼と友情をいただいたものと思っております。P・ハリス語録の中の「友情」については、「ロータリーの原動力は友情です。他者の中によい点を見つけようとする人は、自分も報われます。というのは、今度は自分の中によい点を他者が見つけてくれるからです。」と述べています。私は信頼と友情は心が触れ合いながら育まれていくものもあると思います。私は30周年時の会長として新任され、皆様からたくさんの友情を頂きました。至りませんでした、大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。これからも楽しく学び、信頼と友情を育むロータリアンになっていきたいと思いません。終わりに臨み、皆様方のご健勝と、太田年度のご盛会を祈念して挨拶と致します。ありがとうございました。

幹事報告



幹事 増田 英樹

1. 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンよりジャワ島地震緊急援助活動にご協力いただきありがとうございました。
2. 2005～06年度会長賞授賞式に安井会長が出席し表彰状をいただいてまいりました。

懇親会

